

ふくしの森ステーションはらいちば だより

発行：飯能市社会福祉協議会/ふくしの森ステーションはらいちば（原市場福祉センター内）
 電話：070-7792-2440（不在時は本部へ転送されます。）/ファクス：050-3156-2236
 メール：station-haraichiba@hannosyakyo.or.jp

“ふくしの森ステーション”は地域の何でも相談窓口です

（開所日時：火～金曜日（祝は除く）9:15～16:15）

- ・社会福祉協議会職員のCSW（コミュニティソーシャルワーカー）が活動する地域の拠点です
- ・くらしの困りごとに対する相談支援や地域福祉活動の支援を行っています

熱中症予防のための「熱中症警戒アラート」をご存じですか？

環境省と気象庁は熱中症の危険性が極めて高くなると予測された際に、危険な暑さへの注意を呼びかけ、熱中症予防行動をとっていただくよう促すために「熱中症警戒アラート」を発信しています。最近ではNHKなどを中心にテレビやラジオなどで耳にする機会も増えました。このアラートが発信されたら①外出は控える、②水分を補給する、③室内では温度・湿度管理を徹底するなど、積極的な予防対策を心がけましょう。なお、ふくしの森ステーションはらいちばのある原市場福祉センターは、熱中症予防のための「まちのクールオアシス」に指定されています。ご自宅で暑さを感じる場合はぜひお立ち寄りください！

（出典：環境省 https://www.wbgt.env.go.jp/alert_lp.php）



杜協×セブン-イレブンの移動販売をご利用ください♪

名栗・原市場コース/祝日のぞく第1、3木曜日
 9月1日、15日 / 10月6日、20日

吉田木材工業(株)そば 11:40～11:55

原市場福祉センター 12:05～12:25

山中昭造さん宅前 (赤沢) 12:35～13:00

<事前予約制>
 曾根さん宅前 (妻沢) 13:15～13:30

お知らせ

「曾根さん宅前(妻沢)」について

これまでの利用状況を勘案し、9月より**<事前予約制>**で実施いたします。ご利用の際は、移動販売実施日の前日までに「ふくしの森ステーションはらいちば」へご連絡ください。ご連絡がない場合は通過となります。お手数をお掛けいたしますがご了承くださいませよう、お願いいたします。

中沢・中藤コース/祝日のぞく第1、3金曜日
 9月2日、16日 / 10月7日、21日

中藤下郷バス停そば 11:10～11:20

中藤コミュニティ広場 11:30～11:40

(旧)おかのや 11:50～12:05

堂坂下(中沢5号橋) 12:10～12:20

平沼ツルさん宅前 12:30～12:40

<事前予約制>
 中沢バス停そば 12:50～13:00

台風シーズンの移動販売について



9月、10月と続く台風シーズン、台風の進路と移動販売の実施時間が重なるなど、移動販売車の運行に影響が出ることが予想される場合は事前の予告なく開催を中止する場合がございます。天気予報などで荒天が予想される場合はご利用前に「ふくしの森ステーションはらいちば」までお問い合わせください。

地域ふくし発見!

地域福祉に関する素敵な取組みをふくしの森ステーションのCSW(コミュニティソーシャルワーカー)が取材・発信していきます。

「“ああ、これでいいんだ”という
気持ちが家庭にもつながっていく。」

同じ悩みや問題を抱える親たちが「悩んでいるのは自分ひとりではなかった」と気づき、ホッとしたり、経験や気持ちを伝えあい、学び、支えあう仲間となっています。

「子どものために行くのではなくて、“**親自身の気持ちが楽になるから行くんだ**”という気持ちで来てもらえれば。」

「子を無理に外に出そうとしても心が苦しくなる。**まずは親の気持ちが楽になることで、家庭でも優しく接することができる。**」

「いままでの“働かざる者食うべからず”といった考え方をなくしていくことも大事。働かなくて楽という子はいない。そこを**社会全体が理解してほしい。**」と代表の齋藤さんは言います。

「まずは相談先を探すこと。
悩みを抱え込むのはよくない。」

「近い人ほど相談しづらい悩みもある。私自身も20年前は人に知られなくなかった。」

「市外の講演会を聞きにいったことで“**自分のせいではない**”と気持ちが前を向いた。」

「私自身の経験からも“**自分だけでなんとかしよう**”というのはやめた方がいい。思い詰めて苦しくなるだけ。私もこの会で同じ立場の人と話せて、気持ちが楽になった。」

マロウドの会では、会員が対象の“学習会”、会員以外の方も参加できる“講演会”を年数回企画しています。(次回の講演会は11月を予定。)

見学も受け付けていますので、ご希望の方はぜひ下記までお問合せください。

「マロウドの会」の情報

- 【定例会】毎月第1(水)13:30~
会場 日高市総合福祉センター「高麗の郷」
毛呂山町福祉会館「ウィズもろやま」
- 【日曜サロン】毎月第3(日)13:30~
会場 日高市総合福祉センター「高麗の郷」
- 【年会費】 2,000円
- 【問合せ】 ☎090-5575-7054

独占インタビュー

「マロウドの会」

今回ご紹介するのは「ひきこもり」、「不登校」と呼ばれている子どもを持つ親の自助グループ「マロウドの会」。平成17年に6名のメンバーから始まり、現在では、県内外から34名の親が参加しています。

よく聞く言葉だけど… 改めて「ひきこもり」って?

仕事や学校に行かず、**家族以外とほとんど交流がない状態が半年以上続いていることを言います。**

ひきこもり状態にある人が外に出かけていくためには、無理をすることなく行ける場所を増やしていくこと、そのためには**地域にお住まいの皆さんの理解が必要です。**



最近では60名ほどが参加する“講演会”



ときには親の息抜きで“フラワーアレンジメント”

“ひきこもり”のお悩みも、CSWまでご相談ください。

飯能市健康づくり支援課の保健師など、他の専門職とともに、あなたの気持ちに寄り添ってお話を伺います。ひきこもりは誰にでも起こりえます。悩みを抱え込む前に、あなたのタイミングで、お近くのふくしの森ステーションまで、ぜひお気軽にご相談ください。